

平成 30 年 11 月 19 日

各 位

国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
(電話 03-5572-0233)

イクシス LNG プロジェクト 操業開始記念式典の開催について (お知らせ)

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、オーストラリア連邦において操業主体 (オペレーター) としてプロジェクトパートナーと共にイクシス LNG プロジェクト (以下、本プロジェクト) におけるガス生産操業を進めておりますが、本プロジェクトの陸上ガス液化プラントが位置するオーストラリアの北部準州・ダーウィンにて、安倍内閣総理大臣及びモリソン豪州連邦首相をはじめ、世耕経済産業大臣、キャナバン豪州資源・豪北部担当大臣、ガナー北部準州首相並びに両国の政府関係者、本プロジェクトの LNG 買主、プロジェクトファイナンスに関わった金融機関、プロジェクトパートナー、地域コミュニティの方々、その他プロジェクト関係者の方々等ご参列のもと、11月16日 (金) に本プロジェクトの操業開始記念式典を開催しましたので、お知らせいたします。

また、同日には本プロジェクトの陸上ガス液化プラントにて、世耕経済産業大臣、バーミンガム豪州貿易観光投資大臣、キャナバン豪州資源・豪北部担当大臣他ご参列のもと、陸上ガス液化プラントの操業開始を記念するプラーク (銘板) 除幕式典が執り行われました。



イクシス LNG プロジェクト 操業開始記念式典にて挨拶を行う当社の北村会長

国際石油開発帝石株式会社 INPEX CORPORATION



イクシス LNG プロジェクト 操業開始記念式典の様子

左から：当社の北村会長、ガナー北部準州首相、モリソン豪州連邦首相、安倍内閣総理大臣



イクシス LNG プロジェクト プラーク除幕式の様子

左から：ボウルズ北部準州第一次産業・資源担当大臣、当社の北村会長、キャナバン豪州資源・豪北部担当大臣、世耕経済産業大臣、リスク長老（ララキア族）、パーミンガム豪州貿易観光投資大臣、当社の上田社長

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

本プロジェクトでは、本年10月にLNGの出荷を開始した後、徐々にLNGの生産量を増加させ、プラトー生産達成時には日本のLNG年間輸入量の1割を超える年間約890万トンのLNGを生産する計画です。生産されたLNGのうち約7割が日本買主に供給される予定となっていることから、当社は本プロジェクトを通じて、日本のエネルギー安定供給により一層貢献できると同時に、今後もアジアをはじめとする世界のエネルギー需要に応じていく所存です。また、LNGと共に、LPG（液化石油ガス）及びコンデンセート（超軽質油）の出荷も既に開始しています。LPGは陸上液化プラントより年間約165万トン、コンデンセートは沖合生産・貯油出荷施設（FPSO）などから日量約10万バレル（ピーク時）を生産・出荷する計画です。

当社は引き続き、本プロジェクトに関係するプロジェクトパートナー、地域コミュニティの方々、オーストラリア連邦政府、西豪州政府及び北部準州政府などのオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、今後は、安定稼働及び早期ランプアップの達成に向けて引き続きまい進する所存です。

本プロジェクトは、40年という長期にわたって稼働が見込まれる世界的にも大規模なLNGプロジェクトです。当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得し、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て、2012年1月に最終投資決定を行いました。生産に必要な施設の建設作業を経て、2018年7月に生産井からのガス生産を開始し、順次生産物の出荷を開始しました。

以上